

第13号

平成11年
4月1日

題字

植木満会長

東進

発行所

土浦一高東進会

(茨城県立土浦一高)
進修同窓会
東京支部

事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-10 サニープラザ新宿御苑1102
大野金一法律事務所内 TEL 03-3357-4311 FAX 03-3357-4312



旧制土浦中学校本館(国指定重要文化財)

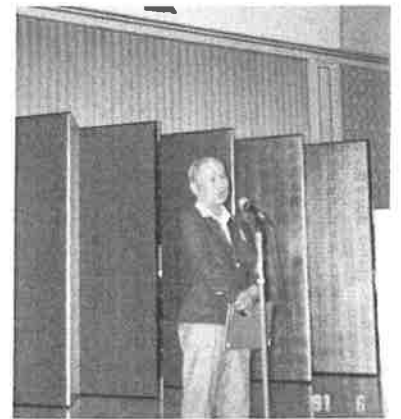
平成11年度 土浦一高東進会 総会・懇親会に多数の参加を!!

- 平成11年6月19日(土) 午後2時～午後5時(受付1時～)
- 東京プリンスホテル 東京都港区芝公園3-3-1 TEL(03)3432-1111
都営地下鉄「御成門」下車 徒歩1分
- アトラクション 一緒に踊る土浦の祭歌



新生東京支部
十周年記念特集
懇親会アトラクション
思い出のアルバム

昭和六十三年十一月五日、従来の東京支部の規約を改正し、埼玉県・神奈川県・千葉県に在住し東京都内に勤務する卒業生も会員に含めてから十年経ちました。
そして、平成三年には「土浦一高東進会」と命名し、会報も第一号(同年九月一日)から「東進」と改名しました。
毎年、担当の学年幹事が知恵をしばって総会・懇親会のアトラクションを企画して会を盛り上げてきました。ここに、懐かしいその「コマを集めました。」



平成三年度 六月十九日
茂在黄男会員(中三〇回)
海底探査などのトーク
阿見町君島芸能保存会
ひよっこ踊りとお囃子



平成四年度 六月六日
蛭原芳和会員(高二三回)のシャンソン
モダンジャズ・エキスピレスの演奏



平成五年度 六月十二日
土浦一高吹奏楽部
橋本正子先生の引率で四十二名の生徒
が駆けつけ五曲を演奏。最後は校歌の
演奏で、出席会員も校歌斉唱
福引き



平成六年度 六月十八日
(上野池之端東天紅)
百円玉争奪ジャンケンゲーム
石塚健二会員(中四五回)の作品、
マジックショー





平成八年度 六月十五日
矢口照雄会員(高一四回)の尺八
北浦敏子氏(高一七回)と
田中美智子氏の琴の演奏



平成七年度 六月九日
兩國相撲甚句会による太鼓、相撲甚句



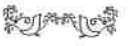
平成九年度 六月二十八日
有志会員提供商品の福引き大会



平成十年度 六月六日
若旅かずこジャズダンス
カンパニーのダンサー
十名によるジャズダンス
曲目 磯節
テイクファイブ
戦友
青春時代

最後に、ダンサーが会場内に散り、出席者をリードしてジエンカを踊る。





土浦の懐かしい祭歌

土浦小唄

一 水の夜桜 土浦堤

月もおほろに 薄化粧

(囃子) いつも明るい

いつも明るい

ソレナ 湖畔の街よ

二 街も虹色 七夕まつり

天の川まで 空あかり

(囃子) いつも明るい

いつも明るい

ソレナ 湖畔の街よ

三 一度見せたい 自慢の花火

パツと開いた 乱れ菊

(囃子) いつも明るい

いつも明るい

ソレナ 湖畔の街よ

四 わたしや公魚 さむらいかたぎ

焼かれながらも 二本差し

(囃子) いつも明るい

いつも明るい

ソレナ 湖畔の街よ

土浦祭りうた

一 霞ヶ浦にゃあ 白帆が浮かび

湖の青さが目にしみる

祭りばやしがりびいた空に

ふんわり飛んだよツエッペリン

カッパカッパブラブラ

ドジョウはドドンがドン

カッパカッパブラブラ

ドジョウはドドンがドン

二 亀城やぐらに 桜が咲いて

お堀のコイドン浮かれ出す

祭りばやしがりびいた空で

くるりとまわった赤とんぼ

カッパカッパブラブラ

ドジョウはドドンがドン

カッパカッパブラブラ

ドジョウはドドンがドン

三 筑波さんろく ムラサキなびき

みどりの木立が歌い出す

祭りばやしがりびいた空から

*やって来る来る科学博

カッパカッパブラブラ

ドジョウはドドンがドン

カッパカッパブラブラ

ドジョウはドドンがドン

*やって来た来た科学博

*未来を開いた科学博

霞浦おどり

一 そよそよと春風吹けばヨ

ほんに嬉しや 俺等の天下ソレ

笑顔笑顔でナ アーヨ サテ

おどろじやないか ヨイサ アイヨ

土地で自慢の霞浦おどりヨ

二 筑波曇れば霞ヶ浦はヨ

恋の雨かよ 白帆がうるむソレ

様と二人でナ アーヨ サテ

ぬれよじやないか ヨイサ アイヨ

かけたなさけの 春の雨ヨ

三 かすみ小町がはにかみながらヨ

ほんにいじらしおどりの中へソレ

顔もほんのりナ アーヨ サテ

さくらに染まりや ヨイサ アイヨ

めひき袖ひき 気ももめるヨ

四 真孤がくれの菖蒲の花はヨ

咲いてしよんぼり波間に揺れるソレ

じつとこらえてナ アーヨ サテ

忍びじやないか ヨイサ アイヨ

晴れてそなたと 添えるまでヨ

五 亀城公園お堀の松にヨ

秘めた想いを 伝えんものとソレ

娘ごころはナ アーヨ サテ

可愛じやないか ヨイサ アイヨ

聞いておくれよ お月さまヨ

東進会役員会 学年幹事会議事録

平成十一年二月二十六日
午後六時三十分

出席者 卒業年度 敬称略

渡 辺 光 夫 (昭和20年)

坪 井 洋 (昭和27年)

芳 尾 敬 一 (昭和28年)

大 野 金 一 (昭和31年)

田 村 恒 (昭和31年)

露 木 修 (昭和31年)

坂 本 善 之 (昭和31年)

土 金 雅 晴 (昭和36年)

中 島 穰 (昭和38年)

片 桐 敬 子 (昭和40年)

長 戸 琴 (昭和41年)

久 松 信 明 (昭和41年)

安 井 恵 子 (昭和41年)

幕 内 邦 夫 (昭和43年)

岡 崎 孝 宣 (昭和44年)

上 田 龍 児 (昭和49年)

決議事項

●平成十一年度総会について

・六月十九日(土)東京プリンスホテル
で午後二時から行う。

・昭和四十年卒が当番幹事で四十一年
卒が補佐する。

・昨年と同じ位の予算にする。

・アトラクションは、土浦の懐かし
い踊りを全員参加で行う。

謳粹会の記

第六回

平成十一年二月十二日

於「四谷美味小家」六名出席

今回は、フランス料理を、それも肩の張らない場所ので、楽しく語らい合える所を選びましたが、開催日の設定が悪かったのか、参加された人員はこれまでの最低でした。



● 飲物

酔仙の純米酒 (酔仙酒造株式会社 陸前高田市) 白ワイン (スペイン) 赤ワイン (マルゴー96)

● 料理

この店が「料理バンザイ」でテレビ放映された時のものを再現した物です。オードブルのほか
美味小家風チーズフォンデュ

名物ブイヤベース・マルセイユ風
牛ヒレステーキ美味小家風
自家製デザート・パン・コーヒール

オードブルは、フォアグラを基調にしたテリーヌの一品、上に香草と甘海老の生を配したオシヤレなもの、スペインのスパークリングワインがよく合って食欲をそそる。

次に卓上コンロが運ばれて、チーズの鍋が載せられた。普通のチーズのように臭みが無く、トロトロのチーズをパンでからめて食べる。熱いので、冷えた酔仙の純米酒を急いで口に含む。辛味の酒のマッチングが両者の甘みを美味しく奏でてくれた。最後に鍋に張り付いたチーズを、店長の宮沢さんがこそげ落として、皆さんに頒けてくれる。その姿は、メレンゲのようであり、香ばしさが一層凝縮されたこの味は、何か心にはほのぼのとした喜びを感じさせるものでした。

さあ、次がこれを食わずして「美味小家」を語るなかれ、とばかりに村井社長が力を入れて、ブイヤベースで、大きな鉢のような器に盛りられた、海老・蟹・蛤・白身魚など数種類の魚介類を炊き合わせたもので、オーナーシェフの村井さんが自負する味を久しぶりに味わうことができました。その味わいは実に複雑で、魚介類の持つ旨味に、何か各種のブイヨンや調味料によって、味付けをしているように思われました。

魚介類には白ワインがよく合って、一升瓶は残り少なくなり、坂本さんが新たに赤ワインをお願いしました。

第七回 弥生の会

平成十一年三月十二日

於「玉淀」十六名出席

第七回弥生の会は、「鮫鱈鍋とにぎり酒の会」ということで会を催しました。



三月月中旬に入り、蔵では今年の仕込が済んで、早くも甑倒しの行われた処もあります。ちよつと時期が遅いのですが、何点かは予約をしておいて、

「にぎり」というのは、ドブロクとちがいで、「搾り」の段階でモロミの一部を酒の中に入れるようにしたものです。島崎藤村の「千曲川旅情の歌」に、濁り酒に飲みてとありますが、あれは多分ドブロクのことでしょう。料理も鮫鱈鍋としました。鍋の季節も大体三月で終わります。そこで、名残の鍋を鮫鱈でということにしました。なお、お造りが鯉ということ、辛口の酒も用意しました。

● 料理

春の肴二品 (新筍・鱈の子・蕨炊き合わせ、菜の花白和え)

お造り 新かつお変わり造り三種 (かつおたたき、かつお湯引き、かつお葱味和え)

鍋物 鮫鱈鍋

(正身・皮・胃袋・肝臓(あん肝))

白菜・春菊・長葱・葛きり・ポン

酢・もみじ下ろし・浅葱・うどん 香の物 水物(イチゴ)

● にぎり酒

「三千盛」(尾張屋) 本醸造にぎり

「誠鏡」(中尾醸造) あらしほり

「川中島」(南千野酒造場) にぎり

「菊水」の辛口

「五郎八にぎり」

「栄光富士」(富士酒造) 樽

「神亀」(神亀酒造) 樽

「桜室町」(室町酒造) 樽

今回もまた、砂川様より辛口「土佐鶴」の新酒をご寄贈戴きました。



『戦いのなかの青春』を回想するの記

茨城県立土浦中学校第四十五回生
土浦一高東進土中四十五回同窓会

会長 渡邊 光夫

昭和十六年四月桜花爛漫の真鍋台の土浦中学校に紅顔の美少年相集う。その数二百十二名。そしてこの年十二月八日には大東亜戦争が勃発し我々は聖戦完遂の名のもとに、農繁期には出征兵士の家の農作業の手伝いに駆り出されていた。そして十八年四月には岩瀬繁君が仙台、桜井元君が名古屋の陸軍幼年学校へ入学したが、まだ国内は戦勝ムードにあった。然し、この年の厳寒には全員が出島村(現・霞ヶ浦町)の農家に分宿し、昼は米増産のための土地改良作業に従事するなど勉学もままならぬ状態であったが、日本の勝利を信じて頑張っていた。

十九年に入ると戦いも厳しさが加わり憂国の念やみがたくなり、軍隊への入隊希望者が続出した。その先陣を切ったのが四月一日陸軍特別幹部候補生として入隊した越川弘君、海軍甲種飛行予科練習生第十四期前期生として入隊した篠山文夫、鈴木重男、中山福男の諸君であった。そして六月二日には小生の君原小学校時代からの親友戸張禮記君が第十四

期後期生として入隊したのであった。

かくして七月十七日には既に閣議決定されていた「学徒戦時体制確立要項」に基づき土浦中学・土浦高女・麻生中学の四年在学生全員が阿見町にあった第一海軍航空廠に動員され、工員宿舎に入り、群がる蚤と南京虫に悩まされ、また馬鈴薯と麦に米チヨビチヨビ入れた馬麦飯、さつま芋を主体にした蕎麦飯などの粗食に耐えながらゼロ戦の機装や修理工事に汗を流したのである。このことは平成七年に戦後五十周年を記念して発刊した「戦いのなかの青春」の記録書に詳しいが、特に麻生中学の先生の記録した昭和十九年九月四日から二十年一月二日迄の食事献立名の記録は当時の食生活の一端を物語る貴重な資料である。十九年から二十年にはこのほか狩谷・小吹・玉井・長南の諸君の海軍兵学校への入校、小松崎・酒寄・田中・松尾の諸君の陸軍士官学校への入校などがあり、その都度土浦駅前広場で「若鷺の歌」「同期の桜」「勝利の日まで」などから校歌「沃野一望数百里」まで肩を組み輪になって声を限りに歌い踊り、友の壮途を祝いながらも心中に別離の悲しみを湛えた見送りが続いたのである。

ところで戦争がたけなわになった昭和十八年に閣議決定された「教育に関する戦時非常措置方策」により当時の中学校は五年制であったのが我々は四年修了で卒業させられる事となり、二十年三月に五年生と四年生が一緒に卒業したのである。更に国の指示により上級学校進学決定者を含めた卒業生全員が第一海軍航空廠に継続動員される事に決定。この間戦局は本土決戦必至と見られ五月三十一日、やはり君原小学校時代からの親友栗山光夫君がやむにやまれぬ憂国の至情から敵艦への体当たりを目的とした陸軍船舶特別幹部候補生として入隊したのは小生にとって大きなショックであった。しかし、同級生から一人の戦死者も出さずに八月十五日の終戦を迎え得たのは幸運であった。戦後我々はそれぞれの分野で社稷の附託の重さに応え家を起こしながら国家社会のため聊かなりとも力を尽くしてきたが、苦しい時に常に心の支えになったのは故郷と故郷の人々であり「戦いのなかの青春」の土浦中学校時代に培った友情であった。



茨城県人会連合会 賀詞交歓会に出席

茨城県人会連合会に東進会として加盟。東進会の更なる発展を期すこととなる。

右から
大野金一理事長・渡辺光夫常任顧問
海老原勝二NHK会長・植木 満会長



(読売新聞 平成十一年一月八日朝刊より)

茨城の20世紀遺産

▷ 4 ◁

建築文化史家の一色史彦さん(58)(土浦市真鍋)は、七四年八月九日、母校の旧本館の屋根裏に上がった。旧本館の保存修理を任せられたのだ。玄関の真土まで来

それまでドイツ人の設計とされた旧本館が、本県の初期の洋風建築に貢献した駒杵の設計であることが確認された瞬間だった。旧本館が建てられたころ、県内では中等教育を充たす土浦一高の前身・土浦中も独立し、新校舎を建てる必要があった。実させるため、中学(旧制)が新たに設置され、校舎などの施設設備が急がれていた。県尋常中学の分校だった土浦一高の前身・土浦中が新たに設置され、校舎などの施設設備が急がれていた。県尋常中学の分校だった土浦一高の前身・土浦中も独立し、新校舎を建てる必要があった。

県技師・駒杵が精魂込める

の講堂、県立商業学校(現水戸商高)の本館などを次々と設計した。全国の中学が装飾のない兵舎のような校舎を使っていたころ、駒杵が設計した本県の中学はゴシックやバロックなど様々な様式を持ち、異彩を放った。

「あの若さでこれだけの仕事をしたいへん。知力、気力、体力を使い切ったはず」。同じ建築にかかわる者として一色さんは駒杵に尊敬の念を示す。保存修復の後、旧本館は

土浦一高旧本館

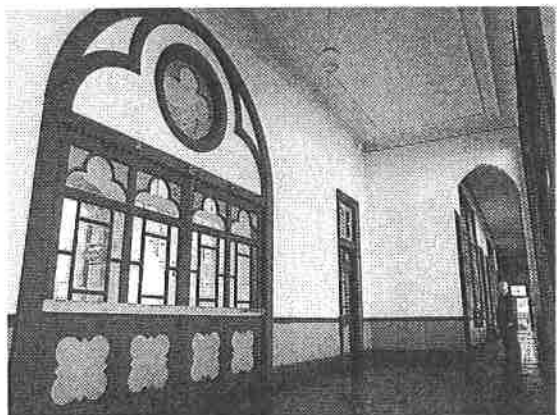
1904年(明治37) 土浦市真鍋4



木もれ日がさす旧本館の玄関



旧制中学で初の国重要文化財指定



日本館の玄関ホール。教室や校長室、職員室なども当時のままで、職員室は資料室になっている

太田中講堂とともに、旧制中学としては全国で初めて国の重要文化財に指定された。三連統のアーチや急こう配の尖塔が特徴の木造平屋建てのゴシック風建物。建てられた時代の活力が、一色さんにとっても、駒杵の意気込みをとどめ、今も生徒会やクラブで使われている。(西内 高志)

◆メモ 駒杵は一八七七年(明治十)、山形県新庄市に生まれた。大学の同期生には、佐野利器や大熊喜邦ら後の日本の建築界を支える人物たちがいたが、一色さんは半年早く卒業し、本県に赴いた。本県は二年三か月おりの間に、一色さんが病死した。

主要大学合格状況の過年度比較

入試年度 大 学	平成 8 年		平成 9 年		平成10年		平成11年	
	合格者	新 卒	合格者	新 卒	合格者	新 卒	合格者	新 卒
北海道大	7	6	6	3	13	9	4	1
東北大	20	16	24	11	16	10	10	7
茨城大	10	8	7	6	4	3	0	0
筑波大	40	30	52	42	65	52	56	43
千葉大	9	6	9	5	9	7	12	8
お茶の水大	6	4	4	4	9	8	7	4
東京大	32	24	43	33	27	19	30	21
東京外語大	2	2	4	3	6	5	5	3
東工大	21	18	16	12	10	4	11	5
一橋大	7	5	3	1	7	2	7	3
横浜国大	10	4	6	4	9	5	8	6
名古屋大	6	2	3	2	2	1	1	0
京都大	2	1	8	1	6	3	8	5
その他	46	18	40	14	29	17	15	8
国立大計	218	144	225	144	212	145	174	114

青山学院大	26	14	39	29	26	17	27	13
学習院大	14	8	16	8	25	6	23	12
慶応大	73	46	74	41	51	27	67	40
国際基督大	4	2	5	3	6	5	7	5
上智大	30	19	22	14	32	18	17	8
中央大	33	8	37	17	29	10	20	10
津田塾大	6	5	10	10	9	9	6	5
東京女子大	12	8	16	11	15	9	10	7
東京理科大	97	49	82	34	94	47	87	33
日本女子大	18	14	18	17	20	14	15	11
明治大	45	13	46	21	49	22	32	15
立教大	27	13	22	12	17	9	22	14
早稲田大	79	51	95	45	79	42	84	47
その他	256	82	225	69	199	66	169	49
私立大計	723	332	707	331	651	301	586	269

公立大計	16	9	11	6	14	7	5	3
大学校計	8	2	2	0	5	1	8	2
その他	2	0	0	0	1	1	1	1

総計	969	488	946	482	883	455	774	389
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

平成11年3月26日現在

平成十一年度大学入試合格状況

東京大は、前年の平成十年度より盛り返したが、ピークの平成九年度には及ばず、その前年の平成八年度の実績に戻った。

昨年度最高実績を出した筑波大の

現役が九名減った。東工大の減少傾向には歯止めがかかって若干盛り返した。

国立大全体では三十八名(内現役三十名)の減少だった。

私立大では、昨年二十三名減少した慶応大が十六名増加し、早稲田大も現役が五名挽回した。

私立大で一番多い東京理科大は七名減少した。以上の数字は、三月二十六日現在のもの最終的には六月中旬に発刊される予定の「進学要領」を参照されたい。

編集後記

前回、十二号の一面下段総会の模様の記事で恩師の和田隆先生のお名前が違ってしまいました。大変申し訳なく深くお詫び申し上げます。

今回は、今までの総会でのイベントをまとめました。各幹事様の工夫で色々なイベントがあり、懐かしくもあり、今後の参考にもなるかと思えます。イベントの写真と校舎の新聞記事は、渡邊光夫常任顧問(昭和二十年卒)からご提供いただきました。

土浦の懐かしい踊りの唄は六月十九日の総会で踊る歌詞です。参加者の全員が踊られるように当番幹事の片桐敬子氏(昭和四十年卒)が忙しく動いております。

季節の料理と銘酒を楽しむ『謳粋会』の活動は毎月行われており、この四月で八回になりました。原則として毎月第二金曜日の午後六時三十分から催されております。ご出席される方は、予め事務局へお知らせください。

六月の総会では懐かしい同期の方々に会えるのもひとつですが、同じ学舎で過ごした先輩、後輩にも会える機会です。一人でも二人でも誘って参加者が多くなりますことを期待しております。

(久松)